

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年2月26日

事業所名 児童発達支援OKブラネット 保護者数<児童数xx(1組きょうだい)> 回収数39 回答率xx%

	チェック項目	はい	いいえ	どちらと	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1. 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	34	0	5	0	活動しやすい十分な広さです。 事業所自体が広いわけではありませんが、少人数制なので問題ないと思います。 体を動かすときは一階、座学は二階と広々とスペースをとっていただいています。 大変満足してます 複数人動きまわるには少し狭いと感じます。 運動の活動をする際にもう少し大きいスペースがあると良いと思う。 運動するには狭いと思う。	・法令に準じたスペースを確保しておりますが、スペースが限られていきますので、参加人数が多い時は、ピアや2階のスペースなどを活用したり、活動内容を工夫・調整したりして、指導・支援を行っていきます。
	2. 職員の配置数や専門性は適切であるか	34	0	3	2	先生が一人一人丁寧見て下さいます。 子供が楽しく過ごせています、それが一番ありがたいです。 臨床心理士の先生や作業療法士の先生など、専門知識のある方が子供をよくみて頂いてます。 適正人数がわかりません	・職員の配置は、基本的に個別指導では1名（支援内容に応じて2名）、3人以上のグループは2名以上となっております。活動内容や個別対応の必要性に応じて、職員を増やして配置しております。 ・保育士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理士など、専門性を生かし、情報を共有しながら、協力して子どもたちの支援を行います。
	3. 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境[*]になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	36	0	2	1	机上遊びの場所と皆で集まる場所が分けられていて分かりやすいです。 子供の目線で丁寧に説明をしております。 水筒係など子供たちが自主的に活動できるような動線づくりが、なされています。	・今後も、子どもたちにとってわかりやすい環境を整え、情報伝達もしっかり行っていきます。
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	37	0	2	0	とても綺麗な空間だと思います。 いつもきれいに整理整頓されています。 運動の活動をする際にもう少し大きいスペースがあると良いと思う。運動するには狭いと思う。	・今後も毎日の清掃・整理整頓をしっかり行い、子どもたちが過ごしやすい空間と環境を整えます。 ・スペースが限られているので、けがすることが無いように、課題や環境設定を工夫して、発達支援を行っていきます。
適切な支援の提供	5. 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画[*]が作成されているか	37	0	1	1	説明も丁寧に分かりやすく計画書を作っております。 こちらのニーズや課題をわかりやすく言語化して下さり助かっています。 支援計画の作成前に面談の時間を十分にとって下さり、子供にあった支援計画を作っております。 とても細やかに作成して下さっていると思います	・今後も保護者の皆様のご意向やご意見をお聞きし、お子さんの様子を共有しながら支援計画の作成を行います。
	6. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	34	0	2	3	子供の事はもちろん、家族の事も考えて支援して下さいます。 事業所内での本人の活動や成長度合いのフィードバックもして下さり、親の意向もよく聞いたうえで作成して下さいます。	・今後も保護者の皆様とのヒヤリングの時間をしっかりととり、家族支援や地域支援も視野に入れた支援計画を作成し、丁寧に対応していきたいと思えます。
	7. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	37	0	0	2	一人一人に寄り添った場合支援をして下さっていると思います。 支援計画に設定していただいた目標にあわせてその月のやることを少し変えて下さったりと、臨機応変に対応して下さいます。	・今後も、支援計画に沿った支援の実施、丁寧な説明やフィードバックをしていきます。
	8. 活動プログラム[*]が固定化しないよう工夫されているか	36	0	0	3	毎週それぞれの違ったプランを決めて下さり、メールにて連絡があります。 枠や時間の拡充をしてほしいという気持ちはありますが、現状には満足しています。 毎週、その時節のイベントにあわせて工作など、プログラムをかえて下さいます。	・今後も、発達の促進に併せて、子どもたちが活動を楽しみにして来所できるように活動プログラムを設定していきたいと思えます。
	9. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	18	7	6	8	幼稚園に通っています。 こちらの事業所のほか、保育園に行っているため、障害のない子供との交流は、ここでは求めていません。このままで良いです。 面談問など、定期的に行って下さっています。 保育所や認定こども園、幼稚園との交流を、OKブラネットに通園する時間に求めてはいたないので、その機会がなくて良いと思っています	・通ってくるお子さんのほとんどが通常の園の子どもたちなので、日常的に交流しています。 ・NPO法人IamOKの会主催の課外活動などを企画し、ご案内していきたいと思えます。
保護者	10. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34	0	2	3	とても丁寧に説明をしてく下さり、不安に思う点等も配慮いただけて大変ありがたいです。 いつも毎月利用者負担についての書類を下さっています。	・今後も丁寧な説明を心がけます。
	11. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	36	0	2	1	いつも丁寧に説明してく下さっています。	・今後もガイドラインの周知に努めます。
	12. 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング[*]等）が行われているか	28	1	5	5	参加申込型の人数を絞ったペアトレはありますが、それ以外で親への働きかけはあまりないような印象です。 特設プログラムが組まれているわけではありませんが、定期的な保護者会があり、希望制で面談でもできるため何も問題ありません。 父親会や、ペアレントトレーニングの講習会など定期的に行って下さっています。 平日なので参加できないペアトレを行っているようだが、我が家は参加したことがない。行ける時はなるべく参加したいと思っている。 自由参加ですが平日実施のため参加できませんペアプロについて、所内相談扱いだと月次の利用回数の兼ね合いで他の個別プログラム参加に影響が出るのが気になった。	・今年度は、利用者向けに、各グループの保護者会（年回）、父親講座（1回）、ペアレント・プログラム（連続6回）、ペアレント・トレーニング（連続2回）を実施しました。 ・ペアレント・プログラムとペアレント・トレーニングは、継続して複数回受けて頂く必要があり、お仕事をされていると参加が難しいというお声が多くありました。また、月利用回数が決まっていることもあり、来年度は、より多くの方が希望するプログラムに参加いただけるよう、計画的に実施を企画したいと思えます。
	13. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	37	0	2	0	毎回フィードバックして下さいます。 保護者の相談にもいつも乗って下さいます。毎回丁寧にフィードバックをしてく下さり、個々人のやったこと、よかったことを一つずつお話しして下さいます。 終了後の全体の父母への説明に加え、個別に声をかけて下さることもあるので、信頼しています。 今日できたことを教えてくれる。その時にこちらで日頃どんなことに困っているか伝えることもある。でも、こちらから困りごとを伝えるのは活動が始まる前がいいと思うので、（本人なりの課題を共有した上で、その日の活動に入れるため）そうしてみようかなとも思う。	・今後も、保護者との信頼関係を築き、個別の相談の対応や活動前のお子さんの様子の確認、活動後のフィードバックを丁寧に言い、共通理解が持ていただけるよう努めます。

目 へ の 説 明 等	14. 定期的、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	35	0	4	0	面談は定期的であり、その他はこちらから相談すると答えていただけています。 まだ入って間もないためそういう機会がない。 ちょっとした子供の変化でも気づいてくださり、よく話をきいてくださいます。	・半年毎のモニタリングの面談や所内相談を通して、育児に関する助言などを行っています。こちらからもお声がけさせていただくなどして、気軽に相談いただける場にしていきたいと思います。
	15. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	31	2	3	3	父母の会は無いと認識しています。 まだ入って間もないためそういう機会がない。 父親会の開催など、他の保護者の方との情報交換はよくできていると思います。 仕事で参加出来ずにいます。 保護者会はあるが、もう少し保護者同士でゆっくり話し合える時間が持てると思う。 保護者会について、毎回時間が足りないように思うので、もう少し1～2回実施しても良いと思う。	・今後も年2回の保護者会を実施しています。 ・保護者同士で意見交換したり、質問したりできる時間をしっかりとっていきたく思います。
	16. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	35	0	2	2	まだ入って間もないためそういう機会がない。 就学前の相談事など何かあるとすぐ対応してくださっています。	・今後も保護者の方が相談しやすい雰囲気づくりと、迅速に対処できる体制づくりを心掛け、丁寧に対応していきます。
	17. 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	37	0	1	1	就学前の情報などはこと細やかに教えてくださっています。	・指導終了後のフィードバックや記録、個別の声掛けなどで状況をお伝えしています。対面での所内相談が難しい場合は、電話やメールでも対応させていただいております。
	18. 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	36	0	0	3	月ごとに楽しい広報を作っている、わかりやすく説明していただきます。	・今年度よりHPにてお知らせを載せ、毎月メールにてご案内させていただきます。
19. 個人情報の取扱いに十分注意されているか	34	0	0	5	十分に配慮してくださっていると思います。	・今後も個人情報の取り扱いには十分に注意を払います。	
非 常 時 等 の 対 応	20. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	27	0	5	7	避難訓練など定期的に行っていますし、感染予防策なども行っています。 想定した訓練が実施されているか	・各マニュアルは入口に掲示しています。実施している対策も含め、保護者への周知を徹底していきたいと思います。
	21. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	33	0	1	5	それぞれの子供たちの特性にあわせて、スムーズに避難ができるよう配慮しながら訓練してくださっていると思います。 訓練の日に天候が悪かったので縮小して行われたと聞いています。	・今後も各クラスでの年1回の避難訓練を実施いたします。
満 足 度	22. 子どもは通所を楽しみにしているか	31	0	7	1	通所がお昼寝の時間帯とかぶっている、入り口でぐずることが多いものの、活動が始まると楽しめているようです。特に音楽療法、感覚統合のプログラムは大好きです。 友達もできて、いつも楽しそうにかよっています。 行けば楽しんでいるが、行く前は行き渋ることもある。(切り替えが難しいためだと思う)	・引き続き、子どもたちがプラネットを楽しみにして来てもらえるように努力していきます。
	23. 事業所の支援に満足しているか	37	0	2	0	いつもきめ細かく見ていただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。 先生方はみなさん優しく、ソフソフしがちなうちの子供にも辛抱強く接してください。本当に感謝しかありません。残り少なくなったOKプラネットでの時間を大事にすごしてほしいです。 もう少し落ち着いた行動がとれるようになって欲しいと思っています。来年は娘と関わる時間を増やしてこのご家庭では考えていますが、3年近く通っているので、もう少し落ち着いた行動がとれるようになってほしいです。落ち着いた方法などの訓練は、あるのでしょうか？ 定期的に言語指導を受けたいが、平日は行けないので受けられていない 専門家による個別プログラムが予約しにくく、どの先生を選べば良いのか説明がなかった(作業療法士と理学療法士の違いなど)	・特別プログラム(感覚統合指導・言語指導・個別指導)は、平日と土曜日に実施しております。 ・対象者にご案内メールをお送りし、通所可能な日時で予約していただき、新規、年長の方を優先で決定させていただいております。同じ講師での継続指導が必要な場合を除き、講師の指定はしておりません。予約については、1枠だけでなく、出来るだけ可能な日時のご予約にお申し込みください。 ・感覚統合指導は、作業療法士と理学療法士が実施しておりますが、幼児の発達段階を踏まえ、同じ感覚統合の視点で見て頂いているので説明はしておりません。どんなことでも結構ですので、疑問等あれば、お気軽にお問い合わせください。 ・お子さんについて気になることや心配なことがあったり、対応について悩んでいたりは、しっかりお時間を取ってお話できる所内相談をぜひご活用ください。こちらからも、積極的に声がけしていきたいと思います。

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年2月26日

事業所名 児童発達支援OKプラネット 講師以外の職員9名回答

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点や課題、改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	1		法令に準じたスペースを確保しておりますが、参加者数などによっては、ピアや2階の部屋に分けて実施したり、限られた空間でみんなで安全に楽しめる活動になるよう工夫するなどの対応をお願いします。
	2. 職員の配置数は適切であるか	9	0	0	部の基準に従って配置している	・基準に従った配置ができるように、さらには参加人数や活動内容、お子さんの状態に応じて対応できる職員配置ができるような体制づくりのため、早めの勤務調整や業務のシステム化、業務量の調整などを行っています。
	3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	0	1	子どもの支度・準備のタイミングが重なり、複数の子どもで同時に行う時、行ったり来たりする子もおり混み合う。その度に何か良い方法はないかと考えてしまいます。	・玄関が狭く、スペースが限られており、廊下での支度・準備となるため、一人ずつ入ってもらい、職員が声掛けしながら順番に奥に促して対応していますが、全体MTGなどの議題として挙げ、検討したいと思います。 ・引き続き、他の部屋を活用したり、仕切りなどで構造化したり、活動内容を工夫したりしながら、子どもが集中しやすい、わかりやすい環境づくりを行います。
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	1	シーズン前のエアコン内部の清掃は必要と感じます。	・引き続き、定期的な清掃・消毒を行います。エアコンなどの設備に関しては、外注による清掃も検討・実施します。
業務改善	5. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	0	0	活動に内容で目標を定めて実施し、活動終了後の振り返りで次の改善点も含め話し合っている。	・活動記録のシステム化・簡素化で、支援目標を明確にした活動内容の設定や、振り返りで次の活動内容や対応について改善点など検討・決定がスムーズになりました。
	6. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	1	わかりません 毎年の自己評価アンケートや退所時のアンケートおよびモニタリングの聞き取りで把握して改善している。 全体ミーティングで共有し、改善すべき点があれば話し合っている。また、いつでも評価や改善内容を確認できるようにしている。	・今後も全体ミーティングでの情報共有を継続し、保護者の意見や要望は、議事録や個人ファイルに記録して、常に確認できるようにします。
	7. 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	3	わかりません	・今後もホームページに掲載していきます。
	8. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	3	わかりません	・現在は行っておらず、今後で検討中です。
	9. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	2	職員の配置がギリギリのため、受け痛い 研修が平日の場合、勤務を休んで研修を受けることが難しい。	・常勤職員についても研修が受けられるように、業務分担・調整を行い、時間確保に努めます。 ・所内研修を実施していきたいと考えています。
適切な支援の提供	10. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	0	0	必要に応じ、個別指導を実施し、アセスメントを行っている。	・今後も個別指導を取り入れながら、お子さんのアセスメントをして、支援計画に反映させていきます。
	11. 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	2	わかりません適応行動については、一般の発達段階と照らし合わせながら、お子さんの発達段階を考慮してアセスメントしている。	・今後も事業所全体で共有していきます。
	12. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	1	保護者に知られていないと感じている。 契約を交わす時か、児童発達支援計画の説明をする時などに、ガイドラインを見せて保護者に伝える機会を作った方がよいのではないか？ わかりません	・児童発達支援計画に記載されている項目について、ガイドラインを含め、全職員に周知していきます。その上で、担当者からの意見や保護者の意向など確認しながら支援項目や内容を設定し、保護者への説明を丁寧に行います。
	13. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0		・個別ファイルの記録用紙に支援計画の目標を載せ、常に確認できるようにし、支援内容を意識しながら活動内容や対応、環境設定を検討・実施できるようにしています。
	14. 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	1		・各職員が支援者であるという意識をもち、活動内容や振り返りでの改善案について意見を出しあって、チームで次のプログラムを検討していきます。 ・マニュアルを作成し、これらをもとに、プログラムを検討できるようにしていきたいと思っています。
	15. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	0		・今後も継続します。
	16. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9	0	0		・今後も継続します。
	17. 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	0		・今後も継続します。
	18. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	0		・今後も継続します。
	19. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0		・今後も継続します。
20. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0		・今後も保護者面談を重視していきます。	
その他	21. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	3	わかりません 相談支援事業所が併設なので、会議を開かなくても日常の情報交換で検討できている。	・必要時には、適任者が参画いたします。
	22. 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	1	わかりません	・要支援家族や保護者の要望など、他機関と情報共有が必要な家庭は、今後とも連携を図っていきます。

関係機関や保護者との連携	23. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	3	4	わかりません 医療的ケア児はいない医療的ケアが必要な子どもがない	・現在、医療ケアの必要な子はいません。
	24. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	3	4	わかりません 医療的ケアが必要な子どもがない	・現在、医療ケアの必要な子はいません。
	25. 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0	0		・今後も必要に応じ、園訪問、保育所等訪問支援、入園・転園時にお渡しできる書類などで、子どもの特性や対応について情報共有を行います。
	26. 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	5	わかりません 紙面による情報提供のみである。すばるへの記入、必要に応じ特性や対応を記載した文書による情報提供などは行っているが、直接やり取りしていない。保護者には学校側へ伝える内容などについての助言は行っている。	・今後も必要に応じ、就学相談シートなどで情報共有など行います。
	27. 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	4	わかりません	・今後も、区の子ども発達支援センターや保健センター、ほかの事業所と相談したり、連携したりしていきます。
	28. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	5	わかりません	・現時点では、園訪問の機会のみになります。
	29. (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3	4	わかりません	・代表者が参加しています。
	30. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0		・今後も継続します。
保護者への説明責任等	31. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	9	0	0	ペアレント・プログラムを実施したが、出席者が少なかった。継続して複数回参加する必要があるため日程調整できるように早めに周知したり、プログラム内容や参加者の感想の広報をしつくりしていくことも検討する。	・今年度は、ペアレントプログラム、ペアレントトレーニングを実施しました。今後も、保護者のご希望に合わせた家族支援プログラムを検討し、早めに広報・周知し、より多くの希望者が参加できるように計画したいと思います。 ・NPO法人 IamOKの会の活動もご案内して参加を呼びかけます。
	32. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	1	わかりません	・今後も丁寧な説明を行っていきます。
	33. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	1	わかりません	・内容を確認して頂いた後、保護者からの質問などに対応しておりますが、説明する時間を確保できるように調整していきたいと思えます。
	34. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0		・今後も子育ての相談場所としての利用を促していきます。
	35. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	3	わかりません 各グループで年2回の保護者会、今年度は父親講座も実施した。	・今後も各クラスでの情報交換として年2回の保護者会や父親講座を実施していきます。 ・NPO法人の活動を紹介しながら参加を促していきます。
	36. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	1	わかりません	・今後も継続して、所内相談の保護者への周知、相談対応を行っています。
	37. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	1	わかりません	・今後もメールでご案内し、ホームページに掲載して発信していきます。
	38. 個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	0	0		・全職員に取り扱いについて周知し、十分に注意していきます。
非常時等の対応	39. 障がいのない子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	1		・今後も丁寧に情報共有や質問・相談などの対応が行えるよう努めます。
	40. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	3	6	わかりません	・今後、検討・実施したいと思います。
	41. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	0	3	マニュアルがいつでも見られる場所に設置していることと各グループ年1回の訓練の実施については周知しているが、詳細は一緒に確認はしていない。	・さらなる職員および保護者への周知を検討・実施します。
	42. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0		・今後も継続します。
	43. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	2	来所時に変わらないか受け入れの職員が聞いている。	・今後も見学時・入所時に病気の有無や治療について確認し、予防接種などの状況も保護者から報告があった際は、職員間で周知して対応します。
	44. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	3	わかりません 必要なお子さんがいない。	・見学時・入所時にアレルギーの有無を確認して、個人情報として記録し、いつでも閲覧・確認できるようになっています。
	45. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1	0	都度記録し、月1回の全体ミーティングで改善方法も含め確認している。	・今後もヒヤリハット事例は記録に残し、ミーティングで共有します。
	46. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	2	わかりません	・今後も全体ミーティングで事業所全体や所内研修で共有したり、虐待防止・権利擁護研修への参加を促したりしていきます。
47. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	0	6	わかりません そのような対応が必要な場面はなかった。	・いつでもマニュアルを確認できるように掲示しています。 ・原則身体拘束は禁止、そのような事例もありません。 ・子どものパニック時や自傷他害の危険があるときの対応について検討したいと思います。	